

社会教育委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 第6期第10回社会教育委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成30年2月27日(火) 午後3時から午後5時15分まで |
| 3 | 会 場 | 中央公民館 2階 第1会議室 |
| 4 | 出席者 | 関和幸委員 山浦美幸委員 青木千浪委員 竹花のり子委員 金子昌平委員
茨木信行委員 山崎利夫委員【欠席委員：聲山委員 宮島委員 早坂委員】 |
| 5 | 市側出席者 | 小林生涯学習・文化財課長 唐澤人権同和教育政策幹 池田スポーツ推進課長
久保田丸子地域教育事務所長 清水真田地域教育事務所長
清住武石地域教育事務所長 竜野中央公民館長 滝沢西部公民館長
滝沢城南公民館長 倉澤上野が丘公民館長 土屋塩田公民館長
大滝川西公民館長 山崎市立図書館長 飯島上田情報ライブラリー館長
倉沢博物館長 小山生涯学習係長 内海生涯学習係主任 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 30年 3月30日 |

協 議 事 項 等

- 1 開会
- 2 あいさつ(代表)
- 3 自己紹介
- 4 会議事項

(1) 平成30年度 上田市教育委員会 社会教育関係事業計画について

(事務局) 各課長から主要事業計画及び当初予算、社会教育団体への補助についてそれぞれ説明
(生涯学習・文化財課)

来年度、第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会が、11月15・16日に長野市ホクト文化会館で開催されるので参加をお願いしたい。

教育委員との懇談については、平成30年度は提言・その後懇談を予定している。

質問・意見

(委員) こころのプロジェクト「夢の教室」の委託事業費はいくらぐらいか。

(事務局) 平成29年度は150万円、30年度は170万円余の予定。

(委員) 第4回太郎山登山競走のスカイレースについて詳しく。

(事務局) 実行委員会として実施。コースが上り下り別で、尾根伝いに下り、ゴールは頂上の予定。危険が伴うので同様のレースの完走者しか参加できない。

(委員) 当初予算の減額の理由は？

(事務局) 今回の当初予算が骨格予算で、通常のもののみ。ただし危険が伴うものなどですぐに対応しなくてはいけないものについては当初予算に載せているところ。

(委員) 丸子郷土博物館に平成31年度、上田市公文書館を併設予定とあったが、30年度の資料整備は、どのような順番に資料の整理を進めていくのか・重要度は？

(事務局) 総務課で契約を進めている。丸子地域は公文書だけでなく、近世古文書を受け入れるということで、順次職員が整理をして目録作りを進めている。

(委員) 丸子地域は近世古文書を受け入れるということか。そうではなくて全体的に考えるということか。

(事務局) 丸子町誌の時は近世文書が収録されているが、写真を撮らせてもらってほとんど返却している。貴重なものがここ数年で寄贈されている。本来自宅で保存いただくのが原則だが、寄贈希望があれば受け入れる。丸子地域であれば丸子郷土博物館で、市内は市立博物館が対応している。

(委員) 公民館の活動の中に学校支援とあり感謝している。配布されたハンドブックにあるように、特に「(漠然と) お手伝いしたい」という人の窓口。学校・教育委員会・公民館3者に分かれており、公民館が窓口となった時にどうやって繋げていくのか、教えて欲しい。地域の方の力は大きいと思う、是非進めて欲しい。

(事務局) 今年はボランティアの方を育成している。広報11月号で申し出のあった方に地区を聞き、公民館職員と学校に連れて行って繋げた事例ある。今、市全体の集まる研修などを開く中でコーディネーターになっていきそうな方が見えてきている状態。

(委員) 公民館の利用者団体の年齢層、公民館利用者の年齢層は同じ傾向か。

(事務局) 60歳以上の方が大半というのが現状。昼間だと小さいお子さんを連れのお母さん方の講座もあるが平均的には60~70代が多い。

(委員) どの公民館も創意工夫でいろいろな講座を行っているが、自治会もそうだが年齢層が偏っていると、ある時突然動きが停止。生活のスタイルがものすごく変わって、動かなくなる。今やっている中に違う世代が入るような工夫が必要では。通学合宿などで手をかけて頑張っているのを感じるが、もう一つの視点としてみていただき、客観的なデータがあると今後対策が練りやすいか(という意見)。

(委員) 学校支援など公民館が地域の中心になってくれている。高齢化で、公民館役員のなり手がなく苦慮している。どこの地域も人がいない、役は減らない。そんな地域の実情をどう考えるか。

(事務局) 人口減少している中で公民館関係、行政関係、自治会関係と負担が大きい。その中で特に公民館と自治会の関係が深いので、自治会活動と合わせた中で公民館事業または組織を長期的に考える必要がある。

今、地域内分権が進み、各地域で住民自治組織が立ち上がっている。住民自治組織に頼るわけではないが、ある程度の事業、そういった皆さんとの協働により、それぞれの事業を展開していければと思う。

(委員) 確かに自治会の事業部門を公民館が担っていると感じる。

(2) その他

(委員) 上小社会教育委員会連絡協議会の理事会の報告等(別紙)

5 その他

(事務局) 学校支援ボランティアハンドブック「子どもがまんなか よーい、どん！」の配付にあたって

(事務局) 当会議終了後についての連絡事項

6 閉会